

さいたま市立東岩槻小学校 学校だより 11月号



すわっこだより

学校教育目標 ともに伸びる子
かしこく ゆたかに たくましく
令和5年11月1日(水)
第8号 発行責任者 渋谷 恵子
在籍児童数144名
<http://higashiwatsuki-e.saitama-city.ed.jp>

自ら考え、行動する

校長 渋谷 恵子

ひばり公園の脇を通ると、道路に何か落ちた音がしました。どんぐりです。日に日に寒さも増し、秋から冬へと季節が移り変わっていることを感じます。保護者の皆様には、10月14日の学校公開では本校の教育活動をご参観いただくとともに親子除草、除草ボランティアにご協力いただき感謝申し上げます。

2学期も折り返しの10月。すわっ子たちは日々、生き生きと活躍する様子を見せています。中でも委員会活動の充実ぶりが素晴らしいので、その様子を紹介します。

10月18日(水)、ロング昼休みに校庭で全校児童と教職員も参加して「全校チェッコリ玉入れ大会」が行われました。企画は、仲明計画委員会と安全健康委員会の児童たち。そして6年生全員も協力して会の運営を助けます。スポーツの秋に、学校全体で体を動かして楽しめることがしたいという思いから今回の取組を考えたそうです。(実は、天候の関係で延期が続き、ようやく実現。当日はいいお天気でしたので、待ったかいがありました。)ひまわり学級を含む1年生から6年生までの児童が、赤、白、黄、青の4チームに分かれて、ダンスと玉入れを楽しみます。ダンスでは、ちょっと恥ずかしそうな顔やノリノリの顔、玉入れになると一心不乱に籠をめぐらして投げ入れている姿。そのギャップが見ていてほほえましく、面白かったです。何よりうれしかったのは、終わったあとに教室に戻る児童たちの本当に楽しそうな笑顔。大成功でした。これも委員会の児童たちが事前に準備をし、当日は6年生も進行や低学年のサポートをするなど、多くの児童たちが会を成功させるためにどうしたらよいかと、考え行動したからです。また関わった児童たちにとっても、自分たちが頑張ったことで皆が楽しんでくれたという達成感を味わうよい機会となりました。もちろん、日々の活動もしっかり取り組んでいます。図書森委員会では、本の貸し出しや読書祭りの運営、ぱくもぐHAPPY委員会では、お昼の放送や給食掲示、自然や動物を大切にしよう委員会では、学校の植物や動物のお世話や紹介…。この紙面では表すには足りないくらいです。

児童たちは、東岩槻小をよりよくするという目的のために、得意なことを活かしたり楽しんだりしながら、自分たちにできることは何か、どのようにするとよりよいのかを考え、行動しているのです。

経済産業省が、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力として定義している「人生100年時代の社会人基礎力」の一つに「主体性」を示しています。指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動できるようになることが求められているということです。本校では、目指す児童像の一つに「自分で考え、行動する子」を掲げており、このような児童の活動に重きを置いています。上に挙げた各委員会の活動は、まさにその表れの一つだと言えます。たくましく成長する児童の姿を見守りつつ、更なる高みを目指していけるよう、児童たちを支援してまいりたいと思います。この企画は、今後第2弾、第3弾と続き、他の委員会の企画等もこれからあるそうです。ご家庭でもぜひ、その後の様子も含めてお子さんとの話題にしてみてください。